

# 図書館

## 大学図書館

**開館時間** 開講日・試験期(7・1月の一定期間)  
 平日 8:50～21:00 土曜 8:50～18:00  
 日曜(試験期のみ) **10:00～18:00**

**休講日**  
 平日 8:50～18:00 土曜 8:50～18:00

**休館日** 日曜日、祝日、開学・開院記念日(特別開館日を除く)、春季・冬季休講中の一定期間、夏季休講中の土曜日

※臨時の休館日および開館時間の変更はそのつどお知らせします。

※詳細は開館カレンダー・ホームページ等でご確認ください。

## サービス時間

1F	貸出・返却カウンター 開架図書室	開館～閉館
	参考室 雑誌室	開館～閉館
2F	レファレンスカウンター	平日 9:00～16:30(11:30～12:30除く) 土曜 9:00～12:20
3F	閲覧室 コンピュータ利用閲覧室 オープンルーム	開館～閉館
	グループ閲覧室 特別閲覧室/AV閲覧室 4F 休憩室	9:00～閉館30分前

※1 本館書庫資料の貸出および出納業務は、閉館30分前に終了します。

※2 東1号館書庫資料の貸出および出納業務は、平日16:00、土曜11:30に終了します。

## 入館・退館

入館・退館には学生証が必要です。ゲートに学生証をタッチして入館・退館してください。

## 館内閲覧

### ●開架資料

開架図書室、参考室、雑誌室にある資料は、自由に取って利用することができます。

### ●書庫資料

開架資料以外にも、多くの資料が書庫に収められています。書庫資料は1Fカウンターで請求してください。また、希望者は直接書庫に入って利用することもできます。

## 館外貸出

### ●貸出手続

貸出には学生証が必要です。図書自動貸出機または、1Fカウンターで手続きをしてください。

なお、貸出期間の延長は2回までできます。

		開架図書	書庫図書※1	雑誌等※1
学部生※2	冊数	10冊		10冊
	期間	2週間		1週間
大学院生※2	冊数	10冊		10冊
	期間	2週間	1カ月	1週間

※1 雑誌と一部書庫の図書を借りるためには、所定の借用書を書く必要があります。

※2 研究生・委生・科目等履修生を含む。

### ●貸出ししない資料

参考図書(辞書・事典・索引類)、雑誌の最新号、禁帯出ラベルのある資料などは貸出しません。

## その他のサービス

- 大学図書館ホームページ <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/> から GLIM/OPAC (オンライン所蔵目録・携帯電話からもアクセス可能) や各種データベース (論文検索、新聞記事検索などが可能) が利用できます。
- MyGLIM (個人専用ページ) では、オンラインで貸出期間の延長や予約などが行えます。GLIM/OPAC のトップページからログインしてください。
- レファレンスカウンター (2F) では資料の探し方、データベースの利用方法、他大学図書館等からの取寄 (複写・貸借 ※実費負担)、紹介状の発行などをおこなっています。
- 学習院女子大学図書館および豊島区立図書館の図書の取寄・貸出が無料でできます。
- 成城・成蹊・武蔵・青山学院・國學院・東洋・法政・明治・明治学院・立教・日本女子大学図書館が学生証で利用できます (閲覧および図書の貸出)。
- f-Campus (単位互換制度) の履修生は、履修先大学の図書館を f-Campus 証および学生証で利用できます (閲覧のみ)。
- 著作権法で許可されている範囲内で、所蔵資料のみコピーができます。料金: 白黒 (1・2F) 10円 / 枚、カラー (2F) 50円 / 枚
- グループ閲覧室、特別閲覧室/AV閲覧室 (3F) では、グループ学習や持参の AV 資料の視聴が出来ます。(1Fカウンターで要予約)
- オープンルームでは、グループ学習や個人学習が自由に行えます。(予約不要)
- コンピュータ利用閲覧室 (3F) では、コンピュータの利用ができます。プリンタも設置しています。

# フロアガイド



はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

本学図書館利用案内

[学] =学部生 [院] =大学院生

学部	名称 及び場所	館外貸出				
		所属学科		他学科		
		図書 冊数・期間	雑誌 冊数・期間	図書 冊数・期間	雑誌 冊数・期間	
大 学	大 学 図 書 館 図書館 TEL: 03-5992-1009 (直)	[学] 10冊・2週間 [院] 10冊・開架2週間 書庫1ヵ月	冊数:10冊 期間:1週間	所属に関係なく左の通り利用可		
法 経 済 法 院	法 経 図 書 セ ン タ ー 東2-5F TEL: 03-5992-5222 (直)	[学] 図書10冊 映像2点 ・2週間 [院] 図書35冊 映像2点 ・開架2週間 書庫2ヵ月	[学] 2冊・1週間* [院] 20冊・1週間*	図書10冊 映像2点 ・2週間	2冊・1週間*	
文	哲 学 科 研 究 室 北2-4F	[学] 3冊・2週間 [院] 5冊・2週間	不 可	所属に関係なく左の通り利用可		
	史 学 科 研 究 室 北2-2F	3冊・2週間	不 可	所属に関係なく左の通り利用可		
	日 本 語 日 本 文 学 科 研 究 室 北2-8F	3冊・1週間	不 可	所属に関係なく左の通り利用可		
	英 語 英 米 文 化 学 科 研 究 室 北2-9F	[学] 5冊・2週間 (4年生は4週間) [院] 10冊・4週間	不 可	[学] 2冊・2週間 [院] 5冊・2週間	不 可	
	ド イ ツ 語 圏 文 化 学 科 研 究 室 北2-3F	10冊・1ヵ月*	不 可	5冊・1ヵ月*★	不 可	
	フ ラ ン ス 語 圏 文 化 学 科 研 究 室 北2-5F	[学] 3冊 [院] 5冊・1ヵ月 (論文執筆者は3ヵ月)	不 可	所属に関係なく左の通り利用可		
	心 理 学 科 研 究 室 北2-7F	5冊・和書2週間 洋書1ヵ月	不 可	3冊・和書2週間 洋書1ヵ月	不 可	
	ア ー カ イ ブ ズ 学 専 攻 研 究 室 北2-6F	3冊・2週間	冊数:図書に含む 期間:1週間	所属に関係なく左の通り利用可		
	身 体 表 象 文 化 学 専 攻 研 究 室 北2-6F	5冊・1ヵ月★	不 可	[学]3冊☆ [院]5冊	和書:2週間 洋書:1ヵ月	不 可
	理	理 学 部 図 書 室 (物 理・化 学・生 命) 南4-1F	[学] 4冊・2週間 [院] 6冊・3週間	[学] 2冊・2週間 [院] 3冊・3週間	4冊・2週間	
理 学 部 図 書 室 (数 学) 南4-3F		不 可				
そ の 他 研 究 所 等	教 職 課 程 中央-6F	3冊・2週間	冊数:図書に含む 期間:1週間	所属に関係なく左の通り利用可		
	史 料 館 北別館	不 可				
	東 洋 文 化 研 究 所 東1-7F	3冊・2週間	不 可	所属に関係なく左の通り利用可		
	学 生 相 談 室 中央-2F	3冊・2週間	図書に含む	所属に関係なく左の通り利用可		
	外 国 語 教 育 研 究 セ ン タ ー 中央-6F	不 可				
	ス ポ ー ツ・健 康 科 学 セ ン タ ー 大学体育館裏	不 可				
	女 子 大 学 図 書 館 新宿区戸山3-20-1 TEL: 03-3203-1977 (直)	8冊・2週間	冊数:3冊 期間:2週間	所属に関係なく左の通り利用可★		

【注意】大学院生・学部生は利用の際、必ず「学生証」をカウンター係員に提示してください。(全室共通)

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

館内閲覧 全学科 図書・雑誌 冊数	開室時間 (閉室時間)	備考
無制限	平日／8:50～20:00 土／8:50～18:00 資料請求は平日19:30、土17:30まで	※入館時学生証必要 ※雑誌の最新号は貸出不可
無制限★	8:50～20:00	※入館時学生証必要 ※開架雑誌は貸出不可 ★書庫資料の請求は一度に6冊まで
無制限	平日／8:50～17:30 (11:10～12:10) 土／8:50～12:30	
無制限	平日／9:00～17:30 (11:30～12:30) 土／9:00～14:00 (11:30～12:00)	※史料および地下書庫・共同研究室図書は貸出不可
3冊	平日／9:00～18:00 (11:20～12:20) 土／9:00～13:00 (11:20～12:00) 閲覧・貸出手続は平日17:00まで	※一部図書は貸出不可
5冊	平日／9:00～17:00 (11:30～12:30) 土／9:00～13:00 資料請求は9:30～平日16:45、土12:45まで	
無制限	平日／9:00～16:30 (11:20～12:20) 土／9:00～12:30	※洋書の一部および和書は貸出不可 ★他学科・他専攻の学生・学習院女子大生への室外貸出は学生証の提示のみで可
無制限	平日／9:00～17:00 (11:30～12:30) 土／9:00～12:30	※地下書庫・共同研究室資料は一部貸出不可
無制限	平日／9:30～17:30 (11:30～12:30) 土／9:30～13:00	
無制限	平日／10:00～18:30 (11:30～12:30) 土／10:00～16:30 (11:30～12:00)	※雑誌の最新号は貸出不可
無制限*	平日／10:00～18:00 (11:30～12:30) 土／9:00～12:30	★論文執筆者は10冊利用可 ☆卒論執筆者(「所蔵資料特別貸出願い」提出者)のみ利用可 ※入庫時に学生証をカウンターに預けること
無制限	平日／9:00～17:30 (11:30～12:30) 土／9:00～13:00	※雑誌の最新号は貸出不可 ※貸出冊数は、理学部図書室(物理・化学・生命)と理学部図書室(数学)の合計冊数
無制限	平日／9:00～17:00 (11:30～12:30) 土／9:00～12:30	※雑誌の最新号は貸出不可
無制限	平日／9:30～17:00 (11:30～12:30) 土／9:30～12:00 図書・史料請求は閉室30分前まで	※史料の閲覧は事前連絡が必要 ※土曜日は閲覧室の利用のみ
無制限	平日／9:30～16:30 (11:30～12:30) 土／9:30～11:30	※開架図書および友邦文庫・貴重書は貸出不可
無制限	平日／9:30～17:00 土／9:30～12:30	※雑誌の最新号は貸出不可
無制限★	平日／9:30～16:30 (11:30～12:30) 土／9:30～12:00	★閲覧方法については外国語教育研究センターまで問い合わせること
無制限★	平日／9:00～17:00 (11:30～12:30) 土／9:00～12:30	★事前に「資料請求票」提出 ★当日は閲覧不可
無制限	平日／8:50～20:00 土／8:50～18:00	※入館時学生証必要 ※雑誌の最新号は貸出不可 ※図書は定期便による取寄せ可 ★全院生・学部生利用可

北2号館地下書庫の資料利用については、上記と異なります。詳しくは各研究室に確認してください。  
試験期・休講期の開室時間は上記と異なる場合があります。

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

## 法経図書センター

**開館時間** 通常時：平日・土曜 8:50～20:00  
試験期（7月・1月）：平日 8:50～21:00  
土曜 8:50～20:00

**休館日** 日曜日、国民の祝日、夏季・冬季休業期間中の一定期間、夏季休業期間中の土曜日、入試期間  
※開館日・開館時間の変更については、HP、掲示板等でお知らせします。

### 入館・退館

入館・退館には学生証が必要です。学生証を忘れた場合は、入口のインターホンでカウンターにお知らせください。退館の際は、専用ゲートから退出してください。

### 資料の検索

資料は GLIM/OPAC (<http://glim-ir.glim.gakushuin.ac.jp/opac/>) で検索してください。「配架場所」が「法経図・〇〇」の資料が法経図書センターにあります。本は「請求記号」の順番に並んでいます。

### 館内閲覧

- 開架資料  
開架図書フロア（6F）および参考図書コーナー（5F）に配架されている資料は、自由に閲覧することができます。5Fには新聞コーナーもあります。
- 書庫資料  
研究用図書、雑誌バックナンバーの多くが書庫に収められています。書庫に入るには、カウンターで学生証を提示してください。1度に6冊まで、書庫から持ち出して閲覧することができます。

### その他のサービス

- レファレンス  
文献・所蔵調査やレポート資料の集め方など、各種ご相談を受け付けています。  
※平日 16:30以降、土曜 12:15以降の申込は、翌日対応となります。
- 情報検索コーナー  
館内には学内 LAN に接続したパソコンが設置されており、自由に利用することができます。OPAC 専用端末、データベース検索専用端末もあります。
- グループ学習室  
話し合い学習のために、2 部屋設置しています。
- セミナールーム  
パソコン、プロジェクタ、AV ブースを備えた学習スペースです。授業やガイダンスが行われることもあります。
- ホームページ  
様々な情報を掲載しています。オンラインジャーナル・各種データベースの利用もここから。  
URL: <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/le-lib/>

## 学内の図書館・図書室・研究室

学習院大学では大学図書館のほか各学部・学科図書室・研究室などで、それぞれ専門的な資料を所蔵しています。各図書館・図書室・研究室の利用案内は 43～44 ページの一覧を参照してください。

### 館外貸出

#### ●貸出手続

手続きには学生証が必要です。貸出希望の資料をカウンターに提示するか、自動貸出機で手続きしてください。

貸出冊数 期間	図書	映像	雑誌
所属			
学部生※ 文・理の大学院生	10冊 [2週間]	2点 [2週間]	2冊 [1週間]
法・経の大学院生 法科大学院生	35冊 [開架:2週間] [書庫:2ヶ月]	2点 [2ヶ月]	20冊 [1週間]

※研究生・委託生・科目等履修生はここに含む

#### ●予約

利用したい資料が貸出中のときは、予約をすることができます。

#### ●貸出期間延長

図書・映像資料は、予約がなければ3回まで延長することができます。

#### ●貸出ししない資料

参考図書、開架雑誌、法律雑誌（法・経の大学院生、法科大学院生は除く）及び貸出禁止扱いの資料（法判例集・新聞等）は貸出しません。

# スポーツ・健康科学センター

## 活動の概要

スポーツ・健康科学センターは、スポーツ科学、健康科学に関する教育・研究を総合的に行う大学附置研究施設です。スポーツ・健康科学に関する授業を開講するほかに、様々なサービスを提供しています。

### 1. 開講科目

体育科目	スポーツ・健康科学 I スポーツ・健康科学 II スポーツ・健康科学 III a スポーツ・健康科学 III b
総合基礎科目	スポーツと健康を考える スポーツ科学演習

### 2. スポーツ施設・用具の貸し出し

【施設】	北グラウンド・テニスコート 多目的コート・体育館・卓球場
【用具】	野球・ソフトボール・テニス バドミントン・バレーボール フリスビー・サッカー バスケットボール・卓球

### 3. 運動部活動への指導・協力

四大学運動競技大会  
甲南大学定期戦  
学内スポーツ大会

### 4. トレーニングルーム講習会

### 5. その他

スポーツ・健康科学関連図書の閲覧  
公開講座  
講演会



はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

# 計算機センター

計算機センターは、情報処理に関する研究を行う大学附置研究施設であるとともに、情報処理に関する総合基礎科目を開講しています。

## 開講科目

計算機センターの開講科目は、次の通りです。

これらの科目の内容等に関する質問は計算機センター事務室までどうぞ。なお、これらの科目の各学科での単位認定に関する質問は各学科窓口でご相談ください。

総合基礎科目									
情報									
初等情報処理1	初等情報処理2	情報数理解析入門1	情報数理解析入門2	情報処理入門1	情報処理入門2	情報処理1	情報処理2	マルチメディア論1	マルチメディア論2

## 授業用パソコン・実習用パソコン

計算機センターでは、授業時に利用するパソコン、および、実習用にオープン利用できるパソコンを下表のように用意しています。これらのパソコンを利用するには、各自が計算機センターのユーザとして登録されている必要があります（次のユーザ登録参照）。

実習室Ⅰには開室時間中、インストラクターが常駐していますので、パソコンのトラブルや使用方法についての質問をしたり、計算機センターで作成した手引書をもらうことができます。

## ユーザ登録

計算機センターのコンピュータを利用するためには、まずユーザ登録をしなければなりません。そのためには、総合基礎科目（情報）の「初等情報処理1」あるいは「情報処理入門1」を履修し、ネットワーク犯罪の被害者あるいは加害者にならないために、コンピュータリテラシーとネットワークリテラシーについてしっかり学ぶ必要があります。そして、学期終了後、担当教員に情報倫理およびコンピュータの基本操作について、最低限の技術と知識を習得したものと認められた（単位を修得できた）学生は、卒業まで継続して利用することができます。もちろん、これ以外の授業でコンピュータを使用する場合は、ユーザ仮登録をしますので、その履修期間中のコンピュータ使用は可能です。ただし、卒業までの継続利用はできないので注意してください。

また、計算機センター利用認定試験に合格した学生にも、卒業までの継続利用を認めます。ただし、この試験は、すでにコンピュータの基本操作について習得済みの学生を対象にしていますので、初心者には必ず「初等情報処理1」の授業を履修してください。

（表）

建物	場所	台数	開室時間 #1
計算機センター	実習室Ⅰ～Ⅳ	計 153 台	月～金 9:00～18:00 土 9:00～14:00
南3号館1階	101 教室 102 教室	104 台 104 台	授業専用
東2号館	1階 ロビー 2階 コンピュータ室	6 台 53 台	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00
	法経図書センター	59 台	月～土 8:50～20:00
大学図書館	コンピュータ利用閲覧室	53 台	月～金 8:50～21:00 土 8:50～18:00
西1号館2階	203 教室 205 教室	30 台 36 台	月～金 9:00～18:00 土 9:00～12:10 (授業優先)
西2号館	1階 サービスコーナー 1階 自習室	13 台 48 台	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00
	2階 202 教室	60 台	授業専用
	3階 303 教室	58 台	授業専用
中央教育研究棟	1階 エントランスホール 5階 教室(501～506室)	8 台 216 台	月～金 8:00～22:00 土 8:00～17:00 (教室は授業優先)
	6階 外国語自習室#2	35 台	月～金 8:50～18:00 土 8:50～12:15

#1: 休暇期間中等は変わります。

#2: 外国語学習のため使用してください。

# 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターは、言語の分野における調査、研究を行う大学附置研究施設であるとともに、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語、そして留学生向け日本語、計 10 言語の外国語科目の授業を開講しています。

国際化が進むなかで、外国語の重要性はますます高まっています。外国語教育研究センターは、質の高い授業を提供する努力を惜しまぬだけでなく、外国語に興味を持ち、自発的に学ぼうという意欲ある学生のみなさんを全面的に応援しています。

## 英語

英語が世界で通用する言語であることは言うまでもなく、本学では、自分のレベルを知る目安として入学時と 2 年終了時の 2 回 TOEIC の全学共通試験を実施しています。NetAcademy2 というオンライン英語学習システムを導入しており、学内のどのパソコンからもアクセスできますので、ぜひ活用してください。

## 未修外国語

いわゆる「第 2 外国語」はゼロからのスタートですが、それゆえの学習の喜びがあります。街で見かけた言葉の意味がわかったり、その言語の話されている国々のニュースに敏感になったりと、思っていた以上に自分の世界が広がることでしょう。英語以外の言葉を学ぶことによって、英語への一極集中的な状況に対する客観的な視点が持て、また英語、ひいては母語である日本語の理解も深まります。

卒業に必要な単位の取得も欠かせませんが、単位取得後も新たな外国語に挑戦したり、同じ言語の学習を深めている学生の姿も教室でよく見られます。

## 外国語自習室

**開室時間** 月曜日～金曜日 8:50～18:00  
土曜日 8:50～12:15  
(2012 年 4 月現在)

中央教育研究棟 6 階にあります。パソコンが設置されているほか、CD、DVD、自習用教材などのソフトや、多読用英語書籍が充実しており、自由に利用できます。

機材の利用方法がわからないときなどは当センターのスタッフに質問してください。教材の貸し出しも行っていきます。



## 事務室

**場 所** 中央教育研究棟 6 階  
**事務取扱時間** 月曜日～金曜日 8:40～16:45 (11:30～12:30 を除く)  
土曜日 8:40～12:30

※当センターの掲示板は、北 1 号館の休講掲示板の裏にありますので、見落さないようにしてください。

当センター事務室では、外国語科目の履修相談を受け付けています。履修要覧、シラバス内の『外国語科目履修の手引き』などを熟読のうえ、なお疑問がある場合には気軽にどうぞ。

スタッフはみな外国語が好きで、何らかの言語の達人です。外国語学習に行き詰まったときにも相談に来てください。



# 東洋文化研究所

東洋文化研究所は1952年、安倍能成学習院長(当時)の「新たな理念と、広い視野とをもって、改めて東洋に学ぶことは、日本人自身の為にも世界人類の為にも重要な仕事である」との趣旨のもとで発足し、学習院大学におけるアジア研究の拠点として60年の歴史を有しています。近年では、朝鮮・中国を中心とした東アジア地域に関する研究活動を通じて、多くの学生が集まり、勉強できる場を提供しています。

## ▶ プロジェクト研究

学内の先生方を研究員とし、また学外の専門家にも客員研究員としてご参加いただき、毎年数本のプロジェクト研究を行なっています。東アジアの歴史・思想・政治・法律・教育・言語などを対象とする一般研究プロジェクトのほか、学習院が所蔵している漢籍や朝鮮関連資料を調査する学習院大学東アジア学ナリッジセンタープロジェクトも活動中です。またこれらの研究活動には、リサーチ・アシスタントとして本学の大学院生たちも多く参加しています。

### 2012年度実施予定プロジェクト課題一覧

#### ● 一般研究プロジェクト

「東日本震災に対するタイランド国民のSNSでの反応分析—WEBテキストマイニングの適用による分析—」

「近現代日本・ヴェトナム関係に関するアーカイブズ的研究」

「『制度改革』をめぐる政治の日韓比較」

#### ● 学習院大学東アジア学ナリッジセンタープロジェクト

#### ● 「東アジア学」共創研究プロジェクト

## ▶ 刊行物

雑誌『東洋文化研究』を年1回発行しています。プロジェクトの研究成果のほか、学内外から広く論説の投稿を受け付けており、高水準・最新の東アジア学研究成果が掲載されています。また、これまでの研究成果をまとめた『調査研究報告』も計56冊刊行されています。さらに、研究成果を広く社会に還元するため単行本シリーズ「学習院大学東洋文化研究叢書」の刊行を始め、2011年度には『東アジア書誌学への招待』(一)、(二)を刊行しました。このほか、朝鮮史の基本史料である『李朝実録』や『三国史記』などの復刻・刊行も行なっています。

## ▶ 公開講座

「東洋文化講座」を年3回開催しており、すでに79回を数えます。近年ではシリーズ講演の形式で開催しており、これまでに「交錯する権力—アジアの争点—」「今新たに朝鮮半島を理解する」「中国古代の文字と記録媒体」などを企画しました。このほか、プロジェクト主催の講演会や連続講座、中国・朝鮮に関する映画の上映会も開催しています。

## ▶ 所蔵資料

東アジア関係の書籍・資料を中心に約3万冊を収蔵しています。朝鮮総督府関連資料である友邦文庫、蒙古関連資料の磯野文庫、広開土王碑拓本、新羅村落文書など、東アジアの歴史や文化を知るための「生」の資料を収蔵しています。また、中国学術データベースや四庫全書CD-ROMなどの電子資料もそろえられており、レファレンスルームには東アジア研究に有用な辞書・事典類があります。学生の皆さんは、どなたでもこれらの資料を利用できます。

## ▶ 国際交流

近年、東アジア学研究を通じた国際交流に力を入れています。2011年度までに、ハワイ大学(米国)、陝西師範大学・香港中文大学(中国)、成均館大学校・慶北大学校(韓国)、天主教輔仁大学(台湾)と研究協力協定を結び学術交流および人的交流も活発になってきています。この3年間で50名以上の若手研究者を招聘し、共同研究を進めています。

# 史料館

大学内の研究施設であるとともに、社会にひらかれた博物館として、史料を次世代に引き継ぐという役割と史料の公開という社会的使命を果たすため、様々な活動を行っています。

## 史料館の利用

HP アドレス <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/index.html>

**開館時間** 月～金曜日 9:30～17:30 (11:30～12:30 昼休み)  
土曜日 9:30～12:30  
\* 史料・図書の閲覧は原則月～金曜日の9:30～17:00です。(請求は16:30まで)  
\* 史料の閲覧は事前連絡が必要です。  
\* 開館情報や展示・閲覧の時間等詳細は HP にてご確認ください。

**休館日** 日曜日、国民の祝・休日、開学記念日(5月15日)、開院記念日(10月17日)、大学入試期間、年末年始、夏季休業など

**所在場所** 史料館事務室  
学芸員課程事務室  
閲覧室  
博物館実習室  
展示室  
収蔵庫  
地下書庫

北別館  
北2号館1階・地下1階



## 事業と活動

### 史料の収集・保存

史料を収集し、それらの保管ならびに整理・調査・研究を行っています。現在収蔵している史料は、皇族・華族や公家、大名・幕臣の史料、また村の名主家史料、および近代から現代にいたる学習院関係者史料などで、総点数は14万点を超えます。

### 出版物の刊行

調査・研究の成果を、『学習院大学史料館収蔵史料目録』・『学習院大学史料館紀要』・『ミュージアム・レター』などとして刊行し、関係機関に配付しています。

### 展示の開催

常設展を開催して収蔵史料を紹介しているほか、年1回調査研究の成果を反映した特別展を実施しています。

### 講座の開催

年3回、一般・学生を対象とした無料の公開講座を開いています。

### 調査・研究

歴史学・博物館学などに関する専門的研究を進め、その成果を刊行物や展示などに反映させるとともに、当館業務の推進に役立てています。

### 図書・史料の閲覧

図書はOPAC、史料は備え付けの「史料目録」などで検索し、閲覧票に必要事項を記入して事務室に提出してください。史料・図書は閲覧室内で利用してください。

### 学芸員課程

館内に学芸員課程事務室と博物館実習室を設置、学芸員資格に関する業務を行っています。授業のための施設・史料提供のほか、毎年多くの博物館実習生を受け入れています。

### 博物館へ行くこう!

学習院大学史料館の展示は無料で見学していただけます。また、学習院大学では、科学技術や美術・歴史などに対する皆さんの関心を高めることを目的として、東京国立博物館キャンパスメンバーズ・国立科学博物館大学パートナーシップに加入しています。両館の窓口で学生証を提示すると、一年中常設展が無料で観覧できるなどお得な使い方がいっぱい! 在学中に思う存分活用してください。お問合せは学芸員課程事務室へ。

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

# 学部・大学院に所属する附置研究施設

## ▶ 経済経営研究所 (GEM)

経済経営研究所は、社会に開かれた研究、情報発信、教育の諸機能をもつセンターとして1985年に設立された経済学部の附属機関です。研究機能の面では、国内外の研究者、研究機関さらには産業界、官界との共同研究、研究交流の拠点として、研究プロジェクト、セミナーや会議の開催を積極的に行ない、その研究成果を『経済経営研究所年報』などに公表しています。

さらに研究所は、情報センターと研修部門の下部機関を設置しています。情報センターでは、企業等の学外機関と協力して、わが国の経済と企業経営にとって重要なデータベースを四つの分野（ワークライフバランス、知的資産計測、仕事別賃金、生活者データベース）を構築し、社会に発信する事業を行ってきました。また研修部門では、経済学部の卒業生に再教育の機会を提供し、経済学部と卒業生のネットワークを強化するねらいから、「ビジネス・フォーラム」と呼ぶビジネス研修コースを実施しています。

経済経営研究所ホームページはこちら

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/index.html>

## ▶ 人文科学研究所

学習院大学人文科学研究所は、1976年より文学部の附置機関として活動してきた言語共同研究所がその役割を終えて閉所されたのを受けて、2001年に設立されました。開所早々、人文科学全般にわたる共同研究プロジェクトが多数生まれ、活発な活動を展開しています。所員である文学部専任教員がスタッフの中心ですが、人文科学研究科の博士後期課程修了者をはじめ若手の研究者、また海外を含めた学外のすぐれた研究者を客員所員に迎えています。研究会・シンポジウム、講演会、博士論文の発表会なども活発に行われています。また学術雑誌『人文』、『人文科学研究所報』を通じて、研究成果を出版しています。創設後10年を経た研究所ですが、視線を遠く21世紀の深奥に届かせています。

## ▶ 心理相談室

学習院大学心理相談室は2008年4月に大学院人文科学研究科心理学専攻臨床心理学コース（現在臨床心理学専攻）の大学院生の実習機関として開室されました。また地域に開かれた相談機関として、さまざまな心理的問題を抱えた児童や青年とその保護者の相談活動を行なっています。臨床心理士資格を持った教員および現場経験の長いカウンセラーの責任のもとで、大学院生が相談を担当しています。人間の心が本来持っている成長のエネルギーを回復することを基本理念としながら、心理療法や遊戯療法、箱庭療法、心理検査、保護者カウンセリングによって問題の解決や軽減をめざして心理臨床実践を行なっています。

## ▶ 生命分子科学研究所

生命分子科学研究所（通称生命研）は、物理学や化学の基礎の上に生命現象を追求することを目標として、1991年4月に発足しました。これまで、タンパク質や核酸など生命分子の構造・機能・生成機構に関する研究、特にタンパク質の生成機構、タンパク質分解酵素の構造と機能、伝達物質受容体など神経機能素子の作用機構、などの研究を行ってきました。2008年4月に大学院自然科学研究科に生命科学専攻が、次いで2009年4月には理学部に生命科学科が創設されました。これに伴い生命研がカバーする研究領域は大きく拡大し、現在ATP合成酵素などを対象とした1分子生物物理学、ガン治療薬の合成と輸送系の開発、細胞分裂の分子機構、DNAの複製・修復機構、神経系初期発生の分子機構、ショウジョウバエを使った発生遺伝学、膜タンパク質の構造生物学、植物の成長・分化の生理学という研究も行われています。

# 生涯学習センター

学習院生涯学習センターは、あらゆる世代の様々な学習ニーズに対応するため、1999年に設立されました。年齢や学歴にかかわらず、誰もが生涯にわたり、必要なときに、必要な知識や技術を修得できるよう、専門、教養、文化、芸能、趣味等、多様な講座を開講しています。その目的の一環として、就職やキャリアアップに役立つ資格・検定試験対策講座、実務・実用講座も実施し、これから社会に出る学生の皆さんや社会人の方々を支援しています。積極的にご活用ください。

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

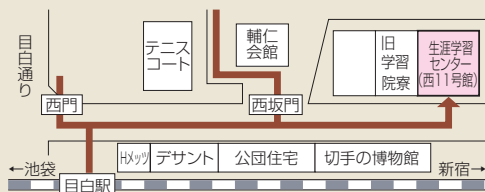
校舎案内

## 生涯学習センターの利用

**開室時間** 平日 9:30～17:30  
9:30～21:00(夜間講座開講時)  
土曜日 9:30～13:00  
9:30～16:30(午後講座開講時)

**ホームページ** <http://open.gakushuin.ac.jp/>  
ホームページには、開講講座情報や申し込み状況など、最新の情報を掲載しています。ホームページから資料請求や受講申し込みも可能です。ぜひ一度アクセスしてください。

**お問合せ・連絡先** Tel 03-5992-1040 Fax 03-5992-1124 E-mail:shogaigakushu@gakushuin.ac.jp



## 課外プログラム(資格、実務・実用、語学)

生涯学習センターでは、民間の資格専門学校や語学学校と提携し、資格・検定対策講座や語学講座など、学生支援のための課外プログラムを開講しています。年間の利用者は、本学学生を中心に600名以上にのぼり、各講座とも良好な成果を上げています。これまで、「宅建主任者総合講座」「行政書士総合講座」「2級FP技能士」「秘書検定」などの資格・検定講座を開講。また、「TOEIC対策」「TOEFL点数UP」などの語学講座、「プレゼンテーション実践講座」「自己分析とキャリアプラン」「就職力アップのための文章講座」などのスキルアッププログラムも実施しました。これからも、学生の皆さんのニーズを反映した新規プログラムの開設を検討しています。

センターの課外プログラムでは、豊かな経験と優れた実績を持つ講師陣による質の高い授業を提供し、効率的に成果を上げることができます。また、全ての講座が大学構内やセンターで開催されるため、利便性の良さも抜群です。就職活動や自分の将来のために、資格の取得やスキルアップなど自身の付加価値を高めたいと考えている皆さんにとって、最適な学習環境といえるでしょう。

在学生向けの講座募集要項は、3月中旬と8月中旬から、西5号館学生ホール、西2号館1Fおよび輔仁会館1F学生食堂食器返却口付近の生涯学習センター講座情報スタンドに設置します。

## 在学生受講料給付制度

センターでは、在学生の皆さんの経済的負担を軽減するため、極力抑えた受講料を設定しています。資格・検定対策講座では、一定の条件のもと、支払った講座費用の一部(受講料の20～25%相当を予定)を給付する「在学生受講料給付制度」あるいは「在学生向け受講料割引」なども整備され、リーズナブルな費用で受講できます。

## その他(教養)講座

その他、芸術、文化、芸能、法律、心理学等々、多彩なプログラムを一般講座として開設しています。「雅楽」「能楽」「香道」「生け花」「礼法」など、日本の伝統文化が気軽に学べるのも特徴の一つで、社会人のみならず、学生の皆さんにも好評です。全講座の詳細を掲載した総合パンフレットをご希望の方は、お気軽にセンターまでご請求ください。

## 2012年度 資格・検定・キャリアアップ講座開設予定一覧

講座名	開講期間(予定)	本試験日
★宅建主任者総合講座(春期)	5月中旬～10月上旬	10月中旬
★宅建主任者試験直前対策講座(学習経験者対象)(秋期)	9月上旬～10月上旬	10月中旬
★総合・国内旅行業務取扱管理者講座(春期)	5月中旬～10月上旬	9・10月上旬
★2級ファイナンシャル・プランニング技能検定(AFP)(春期)	6月中旬～1月中旬	1月下旬
★ファイナンシャルプランナー技能検定3級対策講座(秋期)	2月中旬～3月下旬	5月上旬
★行政書士総合講座(春期)	5月中旬～10月下旬	11月上旬
★秘書検定準1級・2級講座(春期)	5月中旬～6月下旬	6月下旬
★日商簿記3級講座(春期)	4月下旬～6月上旬	6月中旬
★日商簿記2級講座(春期)	5月中旬～11月中旬	11月中旬
★証券外務員二種資格試験対策講座(春期)	5月中旬～7月下旬	随時
★証券外務員二種資格試験対策講座(秋期)	10月中旬～12月下旬	随時
★貿易実務講座(春期)	5月中旬～7月下旬	8月上旬
★貿易実務講座(秋期)	10月中旬～12月中旬	1月中旬
★医療事務講座(診療報酬請求事務能力認定試験対応)(春期)	5月中旬～7月中旬	7月中旬
★調剤事務講座(調剤報酬請求事務技能検定試験対応)(秋期)	10月下旬～12月上旬	12月中旬
★夏期集中ホームヘルパー2級講座(夏期)	8月中旬～8月下旬	—
★知的財産管理技能検定3級(冬期)	2月中旬～3月下旬	7月上旬
TOEIC®講座600点達成コース(春期)	5月中旬～7月上旬	7月下旬
TOEIC®講座600点達成コース(秋期)	10月中旬～12月中旬	1月下旬
夏期集中TOEIC®講座600点達成コース(夏期)	8月上旬～8月中旬	9月中旬
冬期集中TOEIC®講座600点達成コース(冬期)	2月上旬～2月中旬	3月中旬
夏期集中TOEIC®講座700点達成コース(夏期)	8月上旬～8月中旬	9月中旬
冬期集中TOEIC®講座700点達成コース(冬期)	2月下旬～3月上旬	3月中旬
Success TOEIC®730突破!(春期)	5月中旬～7月中旬	7月下旬
Success TOEIC®730突破!(秋期)	10月上旬～12月中旬	1月下旬
はじめてのTOEFL®テスト対策講座(春期)	5月下旬～7月上旬	随時
はじめてのTOEFL®テスト対策講座(秋期)	10月下旬～12月上旬	随時
夏期集中TOEFL®テスト(初級)対策講座(夏期)	8月上旬～8月中旬	随時
冬期集中TOEFL®テスト(中級)対策講座(冬期)	3月上旬～3月中旬	随時
TOEIC®スコアアップ対策講座(春期)	5月中旬～7月中旬	7月下旬
TOEIC®スコアアップ対策講座(秋期)	10月上旬～12月中旬	1月下旬
英語耳を強化しよう!リスニング対策講座(春期)	5月中旬～7月中旬	—
英語耳を強化しよう!リスニング対策講座(秋期)	10月中旬～12月中旬	—
英語でディスカッション&ディベート(春期)	5月中旬～6月中旬	—
英語でディスカッション&ディベート(秋期)	10月上旬～11月上旬	—
大学生のための自己分析&キャリアプラン(春期)	6月中旬	—
大学生のための自己分析&キャリアプラン(秋期)	10月中旬	—
大学生のためのプレゼンテーション力養成講座(夏期)	8月上旬	—
大学生のためのSPI(就職試験)対策講座(秋期)	10月下旬～11月下旬	—
就職のためのマスコミ文章講座(春期)	5月下旬～6月下旬	—
就職のためのマスコミ文章講座(秋期)	10月下旬～12月上旬	—

☆：在学生受講料給付制度対象予定講座／★：在学生向け割引受講料対象予定講座

※ 上記は予定です。詳細は生涯学習センターまで、お問い合わせください。

# 校外施設

本学所有の校外施設は、5ヶ所あります。いずれも低料金で利用できますので、ゼミや部会の合宿等に大いに利用してください。詳細については、施設部までお問い合わせください。

## 校外施設の概要

### 料金一覧表 (各施設共通)

利用者区分	各施設共通 (除：蛇子沢小屋)	
	宿泊(1泊)	日帰り
A 本院学生(院生、研究生、科目等履修生含む)、停年退職者 本院生徒(高等科・女子高等科)、教職員(非常勤含む)	1,000円	500円
	本院生徒(中等科・女子中等科)、本院児童、本院園児	500円
B 本院の専任教職員家族	2,000円	1,000円
C 本院の在学生父母、卒業生、賛助員	3,000円	1,500円
D 本院が認めた者(例：卒業生・非常勤講師・旧職員・名誉教授の各々家族) 本院在学生の配偶者及び子	4,000円	2,000円
E 3歳以上12歳以下の者及び3歳未満で寝具等を必要とする者 (3歳未満で寝具不要者は無料)	上記B・D料金のそれぞれ半額	無料

### 利用時間

宿泊 チェックイン 15:00～、チェックアウト 10:00迄

日帰り 10:00～15:00

### 食事代 (各施設にて退去時に徴収)

	沼津游泳場	妙高高原寮	日光・光徳小屋	西田幾多郎博士 記念館(寸心荘)
朝食代	800円	650円	自炊	—
昼食代	1,000円	—		
夕食代	1,200円	950円		

※沼津游泳場については、調理を外部に委託していることから、食事利用人数(他の利用者を含む)が10名未満の場合は、食事の利用をお断りする場合があります。

### 沼津游泳場の特例

- 大学学生指導のため、ホームルームまたはゼミナール等を単位として、指導教員の指導の下に利用する学生の場合は、1泊2日分に限り利用料を免除します。
- 輔仁会等の合宿練習で使用することを許可された場合には、利用料を半額とします。但し、学生センター学生課に合宿許可願を届け出た公認団体に限ります。

### 申し込み・問合せ先

施設部までお問い合わせください。

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内

## 妙高高原寮



上信越高原国立公園のなかでもすぐれた景勝地のひとつである妙高高原池の平に、温泉設備を備えた鉄筋地下1階・地上2階建ての妙高高原寮があります。

スキー、ハイキングなどのレクリエーションや、運動部、文化部、ホームルームの合宿などの課外活動に利用されています。

**所在地** 新潟県妙高市大字関川 2416 - 10  
TEL: 0255 (86) 2327

### 施設の概要

建 物: 鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建て  
客 室: 8室  
収容人員: 42名  
浴 室: 温泉男女各1室

### 近隣の観光地

妙高山／笹ヶ峰牧場／黒姫高原／野尻湖／  
小林一茶の里／信州善光寺

**利用料金** 料金一覧表参照 (54 ページ)

**交通** 長野新幹線・信越線 東京駅→長野駅乗り換え→妙高高原駅 (2時間 50分)  
バス (池の平行) 妙高高原駅→池の平 (あらかん前) 下車 (20分) →徒歩 (2分)  
→妙高高原寮

## 日光・光徳小屋



日光国立公園戦場ヶ原の近くに“山の家”日光光徳小屋があります。原始林に囲まれた幽境約9,000㎡の用地にあって、自炊設備の備わった2階建ての純山小屋風の建物です。

勉強の余暇、四季を通じての登山、ハイキング、奥日光の自然探勝などに大いに利用されています。ただし例年11月～4月は積雪のため貸出しはありません。

**所在地** 栃木県日光市中宮祠官有無番地  
TEL: 0288 (55) 0706

### 施設の概要

建 物: 鉄骨2階建て  
客 室: 4室  
収容人員: 19名  
浴 室: シャワーのみ

### 近隣の観光地

光徳牧場／山王帽子山／中禅寺湖／日光東照宮／  
中禅寺湖マス釣／湯の湖マス釣

**利用料金** 料金一覧表参照 (54 ページ)

※食事は自炊ですので材料を持参してください。食器・寝具類は備え付けられています。

**交通** JRまたは東武日光線 新宿・上野・浅草駅→日光駅 (2時間)  
バス (光徳温泉經由湯元温泉行) 日光駅→中禅寺湖→光徳温泉下車 (1時間 10分)  
→徒歩 (20分) →光徳小屋

## 西田幾多郎博士記念館（寸心荘）



鎌倉市稲村が崎の丘陵に木造2階建ての西田幾多郎博士記念館があります。

この記念館は学習院寸心荘として本院教職員、学生・生徒が研究、研修会、ゼミナール等の教育課程の一部、もしくは、それに準じた目的で利用するために昭和52年4月に開館しました。

**所在地** 神奈川県鎌倉市稲村が崎3-11-1  
TEL: 0467 (24) 9536

### 施設の概要

建 物：木造2階建て  
客 室：3室  
収容人員：10名  
浴 室：1室（男女時間別入浴）

### 近隣の観光地

由比ヶ浜海岸／鎌倉各寺／鶴岡八幡宮／江の島

**利用料金** 料金一覧表参照（54ページ）

**交通** JR 横須賀線 東京駅→鎌倉駅（50分）  
江ノ電 鎌倉駅→稲村が崎駅下車（15分）→徒歩（15分）→寸心荘

## 蛇子沢小屋



新潟県の銀山平に、ワンダーフォーゲル愛好会によって建てられた木造平屋建ての山小屋、蛇子沢小屋があります。越後の山々にかこまれ、春から秋にかけて銀山湖、奥只見ダム、尾瀬へのハイキングや登山などに利用されています。

**所在地** 新潟県魚沼市下折立字北の又 1027  
TEL：なし

### 利用料金

学習院大学ワンダーフォーゲル愛好会員：  
年間1人 1,500円  
本院在学生・教職員及び稜桜会会員：1人1泊 1,500円  
本院在学生（12才以下）：1人1泊 500円  
本院が認めた者：1人1泊 1,500円  
本院が認めた者（12才以下）：1人1泊 500円  
※食事は自炊です。材料を持参してください。食器・寝具類は備え付けられています。管理人は常駐していません。

**交通** 上越新幹線 上野駅→浦佐駅（約1時間半）  
バス ①浦佐駅→小出駅（約20分）（シルバーライン経由：銀山平・奥只見ダム行）小出駅  
→伝之助小屋（現地連絡所）（50分）→徒歩→石抱橋（10分）→蛇子沢小屋（15分）  
②浦佐駅→小出駅（約20分）（枝折峠経由）小出駅→石抱橋（1時間10分～20分）  
→徒歩→蛇子沢小屋（15分）

はじめに

事務手続きガイド

キャンパスライフ

教育機関

課外活動

データ

諸規程

校舎案内



## 沼津游泳場



沼津市島郷の海岸、御用邸記念公園に隣接する23,000㎡の林間に、14棟3,000㎡の学習院沼津游泳場があります。

夏季には全学園の臨海教育施設として最大限に利用されるほか、年間を通してゼミナール、ホームルーム、または運動・文化各部の合宿等にも利用されています。

**所在地** 静岡県沼津市下香貫島郷 2802  
TEL: 055 (931) 1400

### 近隣の観光地

沼津御用邸記念公園 / 沼津千本浜公園 /  
あわしまマリナーパーク / 伊豆・三津シーパラダイス

### 施設の概要

建 物: 木造瓦葺平家建て      客 室: 35 室  
収容人員: 140 名                浴 室: 男女大浴場各1室  
貸出設備: 夏季利用者「蚊帳」、冬季用「炬燵」

**利用料金** 料金一覧表参照 (54 ページ)

**交通** 東海道新幹線・東海道線 東京駅 → 三島駅乗り換え → 沼津駅 (1時間 20分)  
小田急線 新宿駅 → 沼津駅 (特急2時間)  
バス (三津、西浦大瀬、修善寺方面行) 沼津駅 → 島郷下車 (30分) → 徒歩 (1分) → 沼津游泳場